

学校名 上尾市立平方北小学校
所在地 上尾市大字平方3657
電話 048-726-2120

1 本校の概要

本校は、学級数8学級、児童数115名の小規模校である。学校教育目標を「確かな学力・豊かな心・健やかな身体」の育成とし、確かな学力の向上と健やかな心身の育成を目指している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

ア 読書タイム

毎週月、金曜日の8時25分から35分までに、学級文庫や学校図書館で借りた本で読書をしている。

イ ウェルビーイングコーナー（通年）

児童が明るく前向きに物事を考え、自分で幸せをつくり出すことができるように「ウェルビーイング」の考え方に触れられるコーナーを設置した。発達段階に応じた本を置くことで、全学年の児童が読書することができるようにした。



ウ 読書まつり（6月）

今年度は、「広げよう！本の輪と友達の輪！」という名称で、友達のおすすめの本を読む活動を行った。友達におすすめの本を尋ねることで、読書に関するコミュニケーションが生まれた。また、参加賞としてしおりを渡すことで意欲を高めた。

教職員のおすすめの本を掲示した。

エ 読書月間（11月）

様々な種類の本に興味をもたせるために、「読書すごろく」を行った。「〇類の本を読む」といった条件をつけて、普段手に取ることのない本を読むきっかけをつくった。

「ふくめんブックフェア」という名称で、紹介文を手掛かりに、新たな本と出会う活動を行った。児童が封筒に書かれた紹介文を読んで、興味がある本を選んで借りられるようにした。



読書月間中に読んだ本を葉の形の画用紙に記録して学校図書館前に掲示する「読書の木」の活動を行った。次第に読んだ本が増えていく様子を視覚的に表すことができた。



オ 学校図書館に来館する時間の確保

1・2年生は授業時間、3年生以上は休み時間等に、学校図書館を利用する時間を週に1回以上確保した。借りた本を翌週に返却し、また新しい本を借りるサイクルができた。低学年を中心に、いろいろな本を読もうと積極的に学校図書館に来館する様子が見られた。

カ 「図書学級貸出計画」の作成

学校図書館から各学級で学習に使用する図書を計画的に貸し出すために、「図書学級貸出計画」を作成した。各学年の年間指導計画に照らし合わせて、学習の時期と必要な図書を一覧にした。学校図書館支援員がこの計画を確認して、学習が始まる時期に合わせて各学級に図書を貸し出している。各担任が忙しい時でも学習に必要な本を用意することができた。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

学校図書館の図書を各学級の学習に役立てることができた。「図書学級貸出計画」があることで、適切な時期に図書を貸し出すことができ、学習に必要な図書がいつでも学級に配置されている状態をつくることができた。

(2) 課題

児童の貸出冊数が昨年度3,600冊（令和5年11月時点）に対して今年度3,050冊（11月時点）であり、伸びなかった。児童が学校図書館に来館する時間の確保や本に親しむ取組に力を入れて改善をしていきたい。

(3) おわりに

来年度も教員と学校図書館支援員が連携しながら児童が図書に興味をもつことができる取組を行うとともに、児童が学校図書館を利用する時間を確保していきたい。